

梅雨の合間にやっと麦刈りをし、夏作物が雑草に負けそうになり、草取りもしています。山畑に定植したサツマイモは乾燥のために100本植えたうちの20本が活着しただけです。寒さで出遅れたとはいえ、その後、発生した害虫に悩ませられながら、ジャガイモ、カリフラワー、キャベツは良く取れました。陸稲は雑草のなかで何とか判別できるようになってきました。梅雨のおかげで、前半の乾燥・低温に生き残った作物も復活してきました。いよいよ、台風3号も来て、梅雨明けにむけて夏が近づいて来るようです。奥多摩湖の水は多くはないので、関東山地南部はこのまま空梅雨で終わるのかもしれませんが。

秩父の佐野さんから、「借金なし大豆／八木原オリジナル」を頂きました。今冬の味噌づくりを目標に、早速播種しました。黄色のひもを張れば鳩の食害がないとのことと試してみています。家族自給率が少しずつ高まっています。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は「ナマステ」でお知らせしています。地方創生と大騒ぎしていても、「辺境」の地道な市民活動にはほとんど関心がもたれませんので、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけると嬉しいです。

○報告

1. FAO 世界農業遺産の関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。賛同が広がるようにどうぞ援助くださいますようお願いいたします。雑穀街道普及会として、順次、市村農林担当者にお目にかかり、賛同をお願いして回ります。現在賛同者は50名ほどになりました。この100倍ほどを目指したいと思います。そうしないと市・村行政は取り上げてくださらないと思いますので、FAO世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように一層のご助力をお願いします。

7月14日には雑穀街道を縦走しました。丹波山村役場に雑穀街道のチラシと伝統知研究報告書をお渡ししてきました。その後、西原びりゅう館の方々5名と、岡部さん宅と畑を訪問、小菅の自然文化誌研究会のキャンプ場・雑穀見本園・新植物と人々の博物館を見ていただき、木下さんに紹介し、さらに藤野でミレット藤野の皆さんと会食後、畑などを見ていただきました。

下記ホームページに活動の現況を順次更新していきます。関東山地で雑穀調査研究を始めた1974年ころからの調査資料や文献を掲載しています。FAO世界農業遺産の日本分関連資料は収集してあります。また、美しい村、エコミュージアムなど海外の資料もファイルしてありますので、参考にしていただけます。「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で資料・図書は閲覧していただけます。<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

2. 植物と人々の博物館の移転

小菅村中央公民館から村内の細川邸付属倉庫に無事移転しました。中央公民館は耐震工事に入ります。小菅村の民具の措置については、とりあえず別の倉庫に収容して、その後、細川邸母屋を古民家再生で改修してから、2・3階に展示することになるようです。小菅村教育委員会から引き続き展示管理を求められれば協力します。

3. ミレット藤野・自給農耕ゼミ

第1回は、日時：5月28日（日）、場所：藤野駅北の畑。西原の中川さんに栽培実技を教えてくださいました。6名の参加者と一緒に、約5アールに11人で雑穀の播種をし、午後は「雑穀とは何か」の講義をしました。第2回は、6月25日に移植、間引きや除草作業などの予定でしたが、生育状況や天候のため、2度延期になりました。2回分の作成した講義資料は、ホームページ「雑穀街道」のなかで、eラーニングできるようにします。第3回は増田先生をお迎えして、7月11日に行われました。

4. NPO さいはらで雑穀街道をめぐる基礎調査をトヨタ財団の助成によってするそうです。雑穀街道普及会として協力できるとよいと思います。

5. 伝統知研究会の報告書「都市民と農山村をつなぐ仕事と学びの創造」ができました。会員の方には8月終わりころにナマステと一緒に送られます。下記ホームページほかでも読めるようにしますが、ご希望の方にお送りします。

○予定

1. 作業予定日：7月7日（金）、14日（金）、20日（木）、28日（金）、8月3日（木）、10日（木）ほかの予定です。

移動先の植物と人々の博物館では、順次、図書・資料や民具の展示を再開していきます。作業にご協力いただきたく、よろしくお願ひします。ご協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、日程調整します。

2. ミレット藤野で雑穀栽培ワークショップが企画されています。

5月下旬から秋まで6回、播種から加工・調整、調理まで実技と講義を行います。詳細は下記ホームページにあります。

<http://www.milletimplie.net/collegefores/milletfujino17.pdf>

申込先：メール milletfujino@gmail.com ファックス 042-687-5639

3. 雑穀街道の巡検受け入れの予定

7月14日 NPO さいはらは雑穀街道を丹波山から藤野まで巡検しました。

8月10日 中学校社会科グループは小菅村から西原・桐原から檜原村方面を巡検の予定。

4. 提案

1) 第40回環境学習セミナー（案）

話題：雑穀街道における家族農業、自給農耕、ファーマーズマーケットの楽しみと食料安全保障について、2・3人の講師をお願いして話し合いたいと考えます。日時：秋。場所：上野原市。実施経費について何らかの助成が得られたら、企画を進めたいと思いますので、ご意見をお寄せください。都市農業や家族農業の文献を集めています。

2) 日本村塾ゼミ（読書会継続）

皆様お忙しく、なかなか開催できませんが、希望者があれば開催します。ご意見、ご要望をお知らせください。自給農耕ゼミはミレット藤野で開催することになりましたので、読書会は下記2ゼミで行います。

民族植物学ゼミ第5回 日時・場所：未定。

①農耕文化について学び直したいと思います。

テキスト；中尾佐助 1966、『栽培植物と農耕の起源』、岩波新書（重版あり）、再読したいロングセラーです。参考図書；同左（1967）、農業起原論、森下正明・吉良竜夫編『自然—生態学的研究』、中央公論社、所収。

②自然と感じ合う農耕の楽しさを語り合いたいと思います。民族植物学ゼミ第4回で出た話題を深めます。テキスト；レイチェル・カールソン（1956）、上遠恵子訳（1996）『センス・オブ・ワンダー』、新潮社。参考図書；同左（1962）、青樹築一訳（1974）『沈黙の春』、新潮社。

扶桑ゼミ第3回 日時・場所：未定。

この分野に関連して、認定NPO法人環境文明21で「憲法に環境原則を追加する提案」についての研究会が8月末から始まりましたら、ご案内します。日本村塾でも続けたい方があれば、ゼミもしたいです。

①明治維新からの日本の在り方を学び、考え直したいと思います。

テキスト；羽仁五郎（1956）『明治維新—現代日本の起源』、岩波書店（絶版中古有）。参考図書；原田伊織（2015）『明治維新という過ち』、毎日ワズ；西鋭夫（2016）『新説・明治維新』、ダイレクト出版；西野辰吉（1972）『秩父困民党』、講談社；森田康夫（1993）『大塩平八郎の時代—洗心洞門人の軌跡』、校倉書房。その他。

②柳田民俗学「稲作単一民族説」の瑕疵や関連して新旧憲法の比較なども話し合ってみたいです。

5. **民族植物学第11号**の原稿締め切りは2017年7月末です。ご寄稿をお待ちしています。環境学習セミナーの報告、野生植物の利用、九州・沖縄の雑穀栽培、信仰論などを準備しています。・・・バックナンバーは第7号～第10号まで少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第10号まで、すべての記事はホームページで読めます。

6. 『**雑穀のインド亜大陸**』は民族について学びながら、ネパール・ブータン、パキスタンおよびインド各州について、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。なかなか進まずに、未定稿ですが順次章ごとに公開し、必要に応じて改訂していきます。同じく、『**環境学習原論**』も書き始めました。ともに、下記の個人ホームページから引用してくださる場合は、「木俣美樹男（2017未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

7. 『**ELF 環境学習過程**』が、日本MAB計画委員会編「ユネスコエコパークを活用した教員向けガイドブック—自然と人間の共生をめざして」において、5つの学習視点のうち、①自然と人間のつきあい方・共生に目を向けた価値観志向の学習、に引用されています。引用者は卒業生の畠山さんで、現在はNHK熊本のプロデューサー、最近、映像「目撃につぼん—阿蘇、それでも草原と生きる～熊本地震・牛飼いたちの1年」を製作、DVDに入れて送っていただきました。草原の野焼きの伝統を守る方々の記録です。先祖の伝

続をつなぐ篤農や若者たちに共感します。

また、ELF 環境学習過程を基本にして、三省堂編修所の『こども かんきょう絵じてん』を監修させていただきました。8月25日に発刊される予定です。幼少児とその若い両親に読んでいただきたいです。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）
ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次
植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴
日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか
雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>
事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp
公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>
植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>
メールマガジン発行： 木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp
個人 HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

写真 2017-7-14

ミレット藤野の実習園、イネ科雑穀、センニンコク、キヌアを栽培。



丹波山村、岡部さんのモロコシ、エゴマの畑



小菅村、自然文化誌研究会の雑穀見本園、イネ科雑穀6種、甲州トウモロコシ、陸稻、センニンコク、キヌアもあります。



秩父の大豆品種：借金なし/八木原オリジナル。小菅村と丹波山村で播種してみました。

